

# 在京石鳥谷 町人会だより

(題字 旧石鳥谷町長 高橋公男氏)

連絡所：在京花巻ふるさと会事務所  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋  
4-4-8 東京中央ビル 603号  
TEL:03-6256-8082 FAX:03-6256-8083  
事務局：高橋弘美  
〒270-0127 千葉県流山市富士見台  
1-10-40  
TEL 0471-54-8597



八幡 春日流鹿踊り保存会

## 【2021年 行事予定】

2021年 11月7日(日)「令和3年度在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会」  
於：上野精養軒

2020年 11月の本誌発行時点で2021年のコロナ禍がどうなっているのか  
予測ができませんが会場の上野精養軒は確保しております。



(詳細はHP参照下さい。)

ごあいさつ

在京石鳥谷町人会

会長 高橋 弘美



会員の皆様こんにちは。高橋弘美でございます。

皆様におかれましては、コロナ禍により日本中、世界中の人々がこれまでに経験したことのない厳しい状況が続いているところ、岩手県出身の我々としてはふるさとでの感染者が少ない状況に誇りを持ちつつ、自分も気をつけねばと日々緊張感を持ちながらお元気にお過ごしのことと思います。残念なことに過日ご案内を差し上げた通り、今年の在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会は前述のコロナ禍の影響を回避するために開催を見送ることと致しました。郷土芸能をご披露頂く予定だったコミュニティーの皆様、日頃からサポート頂いている石鳥谷総合支所の皆様、常に応援して下さいる協賛企業の皆様などのご意見も賜りながら決断させて頂きましたが、今もって大変残念な思いで一杯です。

こうした事態は何も我々だけではなく、各近隣のふるさと会や高校の同窓会などの行事も軒並み開催見送りとなっております。行事を主催する側としては単に開催見送りで済ませられますが、会場を運営する企業やその従業員の皆様にとっては、まさに死活問題でありますので、事の深刻さと長引く影響の大きさを深く憂慮せずにはられません。一日も早くコロナの影響を排除した社会に戻れることを願う日々であります。

私は趣味の一つとして近所に畑を借りて野菜作りを楽しんでいます。畑は自宅から徒歩 10 分程度の所にあります。そこまでの道が石鳥谷でよく見られるようなのどかな農道なのですが、緊急事態宣言が発出されたころから散歩する人の数が格段に増えました。特に土日の朝 6 時ごろは、ここは銀座か? (ちょっと大げさ) と思うくらい多くの人(と犬)が通るようになりましたが皆さんマスクをして真面目に (^o^) 散歩しています。どこかの国のどこかの大統領がコロナの影響を軽視した発言やマスクなしで大規模集会を開催しているうちに、ついに自身とその側近達が感染したというような報道があったように記憶しています。いろいろ世界的にご事情のある方はさておいて、自分達の生活を守っていくために一番大事なことは、やはり感染防止に有効だと専門家が言っている対策を地道に、愚直に一人一人励行していくことなのだというのを改めて思い知らされた気がしています。

こうした中でわが在京石鳥谷町人会も中々活発な活動はしにくいのですが、今できることを今、精一杯やろうと活動を進めております。総会・親睦交流会ができなくても「町人会便り」で盛り上げようということで、話題満載の第 27 号を鋭意編集しここに完成しましたのでお届け致します。是非ご一読頂きたいと思います。

本年は総会開催を見送りとしましたので、記事には令和元年度の活動報告並びに収支決算報告を掲載しました。令和 2 年度の活動や収支予算状況については来年の総会でご報告申し上げます。来年(令和 3 年度)の総会・親睦交流会は 11 月 7 日(日)を予定しております。2 年分まとめて盛大にやるぞー! と意気込んでおります。

是非多くの皆様のご出席をお待ちしております。

これからも厳しい状況が続くと思いますが役員一同頑張っ参りますので、引き続き協力ご支援をお願いしつつ、会員の皆様のご健康を切にお祈り申し上げご挨拶いたします。



令和元年秋の叙勲、令和2年春の叙勲でそれぞれ石鳥谷町出身の 2 名の方が黄綬褒章を受章されましたのでご紹介いたします。

似内氏は司法書士、直町氏は酒造業としての実績、技術が認められました。おめでとうございます！

(黄綬褒章の写真を内閣府ホームページより抜粋致しました。)

令和 2 年春の叙勲

黄綬褒章賞 受賞者

花巻市在住 似内 栄孝



私は昭和 17 年 11 月 30 日、農村地域である旧稗貫郡八幡村中寺林(現花巻市石鳥谷町中寺林)で出生しました。

小学校、中学校は地元八幡の学校で学び高校は北上の黒沢尻工業高校の冶金科を昭和 36 年 3 月に卒業、4 月就職のため横浜に移住、会社は京浜工業地帯の川崎にあり、鉄鋼関係の仕事(鑄造会社)をし、又製鉄所の溶鉱炉の側で働いたこともあります。

最初の3年間は何を考えるでもなく満員電車で会社と会社の寮との往復で特に不満がある訳でもなく毎日平凡な生活でしたが、その内自分は農家という程の規模の農家ではないがその長男として育ったこと、都会へ行くことに両親は特に反対しませんでした。自分の選んだ道とは言え、このままずっと横浜、川崎の生活でいいのだろうか考えるようになりました。

要するに都会での生活は自分に向かないということ、自分はやはり自然が一杯な所、と思うと居ても立ってもということ急いで会社を辞めて田舎に帰ろうということになりました。昭和 42 年 2 月、人生が大きく変わることになりました。

会社を辞める時の人事課長は大学の法学部を出た方で私の父の職業を知っていましたが、畑違いであるが法律を学んでやってみなさいとアドバイスを受け父にろくに相談することもなくもう花巻の人になっておりました。父の補助者をしながら昼は仕事を通して、夜は本を読んだ生活です。都会での 6 年間の鉄鋼マンはまるで夢のような、そして 3 年後昭和 45 年 9 月司法書士資格を取得し、父の補助者を 3 年やったということで実務研修をすることもなく合同事務所のスタートです。

27 歳での再出発になりますが思えば鉄鋼マンから司法書士への変身です。6 年間は決して無駄ではなかったと思います。

昭和 45 年、この頃、実は司法書士無用論を主張したある業界の大物がおりまして私はこの影響を受けて司法書士の青年団体の会員になり、本会の支部(花巻)の役員をスタートに現在に至るまで各種役員を切れ目なくやらせていただきました。この道 50 年と、切れ目のない各種役員の担当が評価されたのかと存じます。何時まで現役でやれるか、今は体が許す限りはと存じます。

ありがとうございました。

令和元年秋の叙勲

黄綬褒章 受賞者

花巻市在住 直町 昊悦



こんにちは、在京石鳥谷町人会の皆様お元気ですか、一昨年の在京石鳥谷町人会創立30周年記念おめでとうございます。  
私事、直町昊悦(すぐまちこうえつ)石鳥谷町江曾のうまれです。水田単作の農家の長男として生まれ、冬は出稼ぎというパターンで先輩に連れられ酒造りの業界に入り、働き始めて52年になりました。働き始めの頃は朝3時(マイナス 10℃)起床での作業でした。仕事にも慣れ経験を積み各種、資格を取り 40 代に入ってから杜氏としての初めての蔵元さんが愛媛県でした。5名のメンバーで 11 月から 4 月迄働き故郷に帰る時の桜が愛媛県で満開の年もあれば上野公園が満開の時もあり日本列島の長さを感じた思い出と、5名のメンバーで四国から岩手まで6升もの酒を飲みながら誰も東京駅から上野駅までの乗換えた事の記憶がなくても家に帰って来る本能に後になって皆でビックリした事が昨日の事のように思い出されます。その後、岡山県の蔵元、そして栃木県での蔵元で杜氏として皆さんの助けを頂きながら楽しく働く事が出来ました。

そして私事、黄綬褒章まで頂き身に余る光栄と思っております。実は私を推薦してくださったのが税務署で仙台国税局からの内示でした。

何日かして又、仙台国税局からの電話で「言上」をお願いできますかとの事、私には「言上」の意味が解らず聞き返しましたら、皇居で拝謁の時に受賞者を代表して、天皇陛下への謝辞です、と言われ一瞬何で私かという事と、各々省庁から 700 名以上の受賞者が集まるのもし自分の順番が 790 番としたらいくら背伸びしても天皇陛下の姿を見る事できないだろうという事が、一瞬頭をよぎり承諾し昨年 12 月 17 日皇居宮殿「豊明殿」で拝謁時、言上の機会まで頂き身に余る光栄でした。

今年は新型コロナに振り回され、人間の弱さを思い知らされた気がします、この沈んだ社会に惑わされず在京石鳥谷町人会の益々のご活躍を祈念申し上げます。



在京石鳥谷町人会創立 30 周年記念植樹 枝垂れ梅 愛称決定

在京石鳥谷だより第 26 号で募集いたしました、在京石鳥谷町人会創立 30 周年記念植樹の枝垂れ梅の愛称が決定いたしました。募集は令和 2 年 4 月から 6 月と当初より 1 か月延長しました。その結果 6 名 25 点の愛称が集まりました、愛称の決定は役員 20 名に投票をお願いいたしました。

投票結果は 11 名で 18 票が投票され 4 票獲得した「枝垂れの梅ちゃん」に決定いたしました。



(2018.6.2 植樹)



愛称「枝垂れの梅ちゃん」	4 票	作 高橋 弘美
「梅っこ」	2 票	作 山口 郁子
「町人会の梅の助」	2 票	作 吉田 久美子
「望郷の梅」	2 票	作 柳原 政義

## 「コロナ禍の石鳥谷～今だからできる事～」

石鳥谷CAT事務局 中野 直子

新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態に見舞われ、その対応に四苦八苦する中いつのまにか時は過ぎ、早いもので今年も残すところあと3か月となりました。渦中においても季節はいつも通りに巡り、日ごとに秋の深まりを感じる石鳥谷です。

新型コロナウイルス感染症に伴う影響は我が石鳥谷町にも及び、岩手県に緊急事態宣言が出された際には買い物客が激減、商店街は静けさを増しました。加えて各種会議や事業も軒並み中止となり、特に夏の風物詩「石鳥谷夢まつり(花火大会)」や、昨年40周年を迎え今年41回目として新たなスタートを切る予定だった「石鳥谷まつり」の中止は、町民から「非常に残念」との声が多く聞かれました。

我々石鳥谷CATは、主に旧石鳥谷商工会青年部のOB等が、石鳥谷の町をもっと魅力ある素晴らしい町にする為に何が出来るかを考え行動する事を目的とした同志の団体です。このような状況下だからこそ、CATとして石鳥谷の為に何か出来る事は無いかと考え、石鳥谷夢まつり並びに石鳥谷まつりの代替事業を実施する事を決めました。



石鳥谷夢まつりは町民総参加の花火大会。特に会場を彩る行燈や華々しいオープニングは町内の保育園や小中学校の協力があってこそです。そこで、今までの感謝を込めて町内の保育園児そして小中学校の児童生徒全員に手持ち花火を贈呈しました。本来花火が打ち上げられるはずだった8月13日にはそれぞれのご家庭で「ありがとう花火」を楽しむ様子がSNSに多数投稿され、来年の夢まつり開催へと想いを繋ぐ一夜となりました。

また、石鳥谷まつりの代替事業として、中央通り商店街に在る「小さな百貨店ぷらっと」店内において「石鳥谷まつりリターンズ2020」と題した展示会を実施しました。歴代ポスターや番付手ぬぐいの掲示の他、祭りの写真を一般の方から募集したところ300枚を超える応募を頂き、厳選した約140枚を展示しました。特に山車の組の元祖と言われる60年前の写真は、来場者の目を引きました。展示会は9月8日から12日まで、検温とマスク着用を義務づけた上で行われ町内外から多くの方にご来場頂きました。ご来場された皆様からお祭りへの強い思いが伝わりこちらまで胸が熱くなり、来年の開催を願わずにいられない、そんな5日間でした。



コロナをきっかけに、石鳥谷町にある施設やお店ではアルコール消毒が必須となり、町民の方々のマスク着用も当たり前の光景になりました。未だコロナの収束が見通せない状況ではありますが、ウィズコロナの時代へと移り変わる中、感染予防対策を励行しながら少しずつイベントを再開するなど活気を取り戻し始めています。来年は全ての事業が無事開催される事を願い、また、町人会の皆様が安心して石鳥谷に帰省できる、そんな日常が戻ってくる事を願っています。

石鳥谷CATホームページ <https://ishidoriya.hanamaki-cci.or.jp/>



スティ・アライブ

好地出身

菊地 勝江

埼玉県

“〇〇式”、“〇〇会”、“〇〇祭”、ありとあらゆる宴が日常から消え去ったこの春、満開の桜の下で、私の手帳は真っ白になった。つまり、仕事がゼロになった。

立春を迎えての2月良日、花巻温泉で「還暦を祝う会」と称して中学校同窓会があった、全国に散らばった60歳が大集合、教師も成績表もない集合体が口を閉じたのは修祓の時だけであとは一日中よく喋りよく笑った。マスクもせずに…。 “武漢” “プリンセス号” は向こう岸の火事、この時迄は。夜更けてもカラオケのマイクがリレーのバトンパスの如く延々と続いた。消毒なんて知っちゃこっちゃない…この時は。ホント…。

そして、自分達があその時の熱気にまだまだ酔いしれていた頃、花巻温泉は全館休業を宣言していた。あの長閑なふるさとでさえ、そうなのだ。首都圏内に住み、ましてや、一種の娯楽産業に身を置く私の手帳が真っ白になるのは至極当然である。咲き誇る桜の下で私は社会から求められない人となった。残されたアイデンティティにすがり、佳き家庭人として励もうと足元を見つめる。子守り役を買って出ようと娘に告げると、医療従事者の娘の規範意識はかなりとんがっていた。接待を伴う飲食店の立ち並ぶ町に住む私の手に孫達を託せない旨を医療人らしく説明してくれた。要するに“来ないで！”と。

リモートワークになった息子の嫁はどうしているだろうと連絡すると、会社からPC3台持たされてマンションの下のコンビニにすら行けないくらい多忙だと言う。慰問の電話が戦闘の最中であったのかと思うとゾツとして早々に切った、と同時に、嫁さんからラインが届いた。ジョーンズ・ホプキンス大学のウェイブサイトから云々と、どうやらこの事態に姑は一人でパニックしているらしい、と嫁さんは感じたのだろう。パンキンみたいな学校の論文は長すぎてさっぱりわからないが、嫁さんの方が一枚上手であることはしっかり理解した。

そうだ、私も嫁であった事を思い出し、今年94歳になる舅の暮らすグループホームに連絡した。面会不可は当然だが、せめて差し入れをしたい旨を伝えると出来れば遠慮して欲しいと云う。なるほど、そうなのだ。自肅とは遠慮すると云う意があるのだ、と改めて気づく。施設で働くスタッフに申し訳ない事をしてしまった。好意を阻む事の困難さはいかばかりであろうか。

都心に通勤している夫とは1階と2階に居住空間を2つにした。2階に夫。彼はそれがとてつもなく快適らしい。思う存分、テレ東の番組を大音量で鑑賞、何十年と押し入れに入れっぱなしのギターを取り出し、真夜中“チューリップ”を歌っている。この春、再雇用契約を結んでもらい安堵したのがバレバレのやたら明るい財津和夫である。

1階の私だって歌いたい。スケジュール真っ白の手帳を抱えて歌いたい。仕事の連絡が来ないスマホを握りしめて歌いたい。拓郎の“落陽”あたりを歌わせたら合格の鐘が鳴りそうだ。

朝、スマホにメールが入る。仕事か？仕事だよ！と落としそうになるスマホを大事に開いたら、盛岡の親戚からだ。 “連休には、じえって、けってくるなよ” 的な内容だった。方言が言葉の棘をうまい具合に抜いていた。 “もちろんだ、おらあふるさとを汚したくねえ！” 的な返事を送った。

“コロナに負けました。” こんな張り紙をガムテープでくっつける店が増えてきた。自虐ネタが大義名分となっている風潮を見て、こりゃ、負けるはずだよなあ、と思う。商売の品格が下がってきたと思う。“閉店” とだけ書いた方が清々しいのではないか…云々。

近頃の私は愚痴っばい、不安が臭い立つようなありさまである。

ほんの3か月前には私には夢があった。還暦らしくありたいと願った。仕事を減らし収入は減っても心は豊かでありたい素敵な60歳。家の内外は小綺麗にしても化粧はせず木綿を着てパンプスは履かない。旅行はせず図書館に通い。借りた本を読みながら小豆を煮る。静謐な時間に暮らしたい。なんて素敵な時間。うっとり、しっとり、ああ素敵。

ん？ いや、さてよ！！ちょっと待てよ？それって、今の私じゃないか！百合子女史の“スティ（アット）ホーム”の流暢な英語が心に止まったのは、なるほど、そういう事だったのか。

お金はないけど考える時間はたっぷりある。絶賛静謐中である。“負けるが勝ち”と言った昔の人は偉い、負けて見える景色を味わえば、きっとその先に豊穡の海があるはずだ。物語の終わりは物語の始まりであるというではないか！。“負けるが勝ち”という自分賛歌を口ずさみながら、私は生きていこうと開き直った。親からもらった、命の物語を“ニューノーマル”という第二章につなげていこう。出来れば長くつなげていきたい。つまり、長生きしたい。第二章でも泣いたり、笑ったりしたいから。マスクと手洗いでそれがかなうならこんなにたやすい事は無い。

60歳。命にしがみつく事を自覚した緊急事態宣言下の私の宣言は“スティ・アライブ”  
真っ白な手帳にそのために今なすべきことを書き記そう。まずは、洗面台の下の片づけだな！

長生きしてやるぜ！見てろよ！ウイルスめ！仕事がしたい！仕事ください！恥も外聞もなくなってきた60歳は強い。お前も驚く、きっと。



\*：修祓＝シュバツ、静謐＝セイヒツ

## コロナについて

八幡出身 佐々木 ミツ子 千葉県

コロナさん、あなたはどこにいらしたのですか？中国の武漢で始まり、日本ではダイヤモンドプリンセス号で大騒ぎになり、春節で世界中に広まりました。7月2日に東京の感染者が107人と発表された時は大変驚きました。慣れとは恐ろしい物で毎日三桁になり500人位の感染者が出た時は又かと言う気持ちになりました。3月4月5月はコロナが怖くて。電車にも乗れませんでした。6月になりようやく乗れるようになりました。

芸能界では、志村さんと岡江久美子さんがお亡くなりになりました。大変ショックでした。安倍さんもコロナ疲れと持病でお辞めになりました。

今年のお盆には田舎に帰りませんでした岩手はゼロ人をキープしていましたが出していました。初めての方はパッシングにあったとの事。GOTOキャンペーンで人が移動した沖縄で感染者が多く出していました。あらゆる面で世の中がこんなにも、進んでいるのに、ワクチンができませんね。100年前に流行したスペイン風邪は今のインフルエンザなそうです。マスクやトイレトペーパーなくなって困ってしまいましたね、コロナに効くワクチンが一日も早く出来ることを願っております。

早く前の生活に戻りたいですね！

ソーシャルディスタンスと三密は避けこまめに手洗いを！





## コロナウイルス一体何者？

八幡出身 柳原 政義 千葉県

寝苦しい熱帯夜の他に先程、なんとも難儀な宿題が舞い込んでしまい、久々にナカナカ眠りにつけない夜となってしまった。呑平なのか仕方なくウイスキーを睡眠薬代わりにと喉に流し込んだのであります。

秋号に新型コロナウイルスの特集を組んだので……ネタがないのか、それとも憎いコロナを文章で攻め落とそうとしているのか？まずは思うまま書いてみることにしました。

恐ろしく小心者の自分は、当初このコロナ禍が怖くて怖くてこの世はどうなるかとマイナス思考ばかりしていました。それは十数年前にLPGプラントの運転請負事業に挑んだ際、収益向上のために人数ギリギリの運転をしてしまい、万一の補充要員が皆無状態。

経営者達は、安全運転はもちろんのことだが、インフルエンザと食中毒には最善の気配りをしろと顔を合わせる度に口うるさい言い続けられウンザリしていました。

ある冬、とうとう運転員の一人がインフルエンザで倒れ、蔓延したら事業はアウトとなり大迷惑をかけることになる。彼には完全に治るまで入社するなと指示し、自分が彼のカバーで交代勤務に入り、課員にうがいと手洗いと余分な外出をしない事を徹底させた昔々の記憶が蘇ったのです。幸運にも職場内にウイルスが蔓延することなく過ぎ去りましたが、この度の新型コロナウイルスが猛威を振るい始めた時に、自分の経験したウイルス対策と悪性スケールの大きさの違いに青ざめてしまいました。

最良策はワクチンの出現なのですが、なかなか期待に応えてくれない現状、一番の対策は“巣ごもり”と決め込み、唯一の楽しみは晩酌と決めての毎日です。さて、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。兎に角、このコロナ騒動が早く収まり、町人会メンバーが集える日が来ることを心より祈っております。

## 私のコロナの生活

好地出身 菊地 正弘 埼玉県

3月末で会社員を卒業し、コロナ感染が急激に広まった4月からは図らずも毎日自宅待機となりました。新宿へ毎日通勤(マスク、アルコール消毒、可能な限りその辺りを触らない)から一転、コロナ感染が限りなく零的なストレスフリーな生活環境となり大変ラッキーでした。

5月下旬に「緊急事態宣言解除」と同時に、即刻石鳥谷町上口に「コロナ疎開」しました。下心には「コロナ発症第一号になり有名になる」との野望もありましたが。その頃の岩手県は発症者零更新中でしたが住んでみて納得しました、それは、全員が「発症者第一号になりたくない」プレッシャーを感じてのリスク回避生活していたのです。

まさに日本国民の鏡です。お盆も明けて今尚、首都圏とは真逆なコロナウイルスにお目にかかれな、涼しい日々を過ごしています。

私事ですが毎年夏恒例の「石垣島旅行」を中止しました。石垣島のキャバクラでもクラスター発症が決め手となり、出発前日の英断でした。飛行機のキャンセル料は痛かったあ。

もしウイズコロナで強行し、私は若いため無症状感染して帰宅後の家族への感染を配慮した「清水の舞台から飛び降りる」英断でした。





## コロナに負けじと苦心の練習

ロス ボラーチョス リーダー 平山 真人



コロナ自粛の厳しい世間の目を意識して、「フェイスシールドを着けて練習してみようか…」そう言って試してみたのが左の写真です。結果、笛が吹きにくいことが分かり、あっさりギブアップ。その代わりにソーシャルディスタンスの確保です。我々熟年音楽隊ロス・ボラーチョスは試行錯誤しながらの練習に励んでいます。上川信行さんが所属する南米アンデス音楽のロス・ボラーチョスはアマチュアのグループですが、音楽性より

楽しさが気に入られたのでしょうか、演奏依頼が多く、年20回ほどイベント演奏をこなしています。それが今年はコロナのせいで公演は2月の2回だけ。毎年企画開催している「真夏のフォルクローレフェスタ」も今年(第15回)は断腸の思いで中止しました。それでも、「練習だけはしておこう」と月1、2回は集まります。たいがいは都内の某スタジオです。30人ほどは入ろうかという広さですから、「三密」対策上は十分。ここで約5時間余、練習とコミュニケーションを楽しみます。練習後は近隣のスーパーなどで酒類、つまみを調達。ひとしきり歓談した後は街の居酒屋で二次会…となります。それも今年2月までで、以降はコロナで自粛気味です。フルメンバーでの練習は稀になり、飲みニューケーションも控えめ。

「たまには伸び伸びと練習してみたい」と野外のスペースを探しました。都内には広い都立公園が数多くありますが、今年は花見が禁止されて以降、公園管理者の目を気にせずに練習できる公園はなかなかありません。が、鶉の目鷹の目です。仲間が良さそうな場所を見つけました。ちょっとした林間広場です(秘密です)。練習していると、時々親子連れが“観客”になることも。すると演奏に気が入ります。

例年秋、冬はボラーチョスの“書き入れ時”ですが、今年はコロナとインフルエンザのダブル流行も予想されており、熟年音楽隊には試練の時節になりそうです。

## コロナウイルス感染症 with コロナ

八重畑出身 草間 マサ子 埼玉県

季節は、すっかり秋になり、落ち葉も「カサカサ」と散っております。

国内で、新型コロナウイルス感染症が始まった、今年2月、マスク、食料を求める人で世界が色々変わりました。4月には、緊急事態宣言が出されました。各家庭に自粛を求められ、三密には注意する。動く事への欲求を抑えられ、コロナ禍の中で何をしたら良いか？ただ前向きに考えろと、今回の様に普段出来ない事が出来た事、コロナ禍に遭遇し人と人が距離を取る生活は、非常に難しいと感じました、幸いにも家の近くに体育館が有り、広い運動場と憩いの家を囲むように、一周500mの遊歩道があって、毎日の日課として、ウォーキングダイエットを楽しんでおります。毎日歩いていると「頑張っているね！」「すごいじゃないの！」と言われる。言葉に励まされています。まあ人の言葉の推しもあってね！

感染症の今後がわからない間は勝手な判断もできませんが、今の生活の中で私が意識しているのは、日常を大事に過ごす事、大切なのは日々の積み重ねだと思います。

菅総理大臣に「コロナウイルス」を早期に解決して頂いて、「さすが！」だねと言いたいです。

皆様、コロナウイルスに感染しないよう気を付けましょう！

**在京石鳥谷町人会 令和元年度収支決算書及び事業報告書**  
(コロナ禍で総会が開催できず誠に申し訳ありませんが、本誌面でご報告いたします。)

## 在京石鳥谷町人会 令和元年度収支決算書

[ 令和元年10月1日～令和2年3月31日 (会計期間変更に伴う経過措置) ]

### 1. 収 入

区 分	予算額	精算額	比 較	説 明
年会費	270,000	256,000	△ 14,000	年会費
補助金	250,000	250,000	0	花巻市
総会収入	1,100,000	1,249,500	149,500	
雑収入	0	0	0	利息等
一時立替金	20,000	0	△ 20,000	役員による活動支援金
前期繰越金	8,907	8,907	0	
合 計	1,648,907	1,764,407	115,500	

### 2. 支 出

区 分	予算額	精算額	比 較	説 明
総会・親睦交流会	1,300,000	1,547,936	247,936	11/4 上野精養軒 内訳 準備費 189,003円 謝礼 (鹿踊り) 50,000円 謝礼 (吊るし雛) 30,000円 謝礼 (引菓子) 59,400円 食糧費 (まんま屋) 22,220円 食糧費 (酒) 74,565円 食糧費 (精養軒) 950,280円 会場費・事務費 (精養軒) 172,468円
備品消耗品	20,000	14,118	△ 5,882	事務用品、コピー代
通信費	5,000	2,764	△ 2,236	切手、郵送代
交通費	3,000	771	△ 2,229	出張費、レンタカー、ガソリン代
会議費	10,000	8,044	△ 1,956	日暮里ひろば館会議室、お茶代
広報・印刷費	40,000	27,905	△ 12,095	町人会だより、ホームページ
渉外交流費	85,000	117,000	32,000	ふるさと交流事業等
雑 費	10,000	18,018	8,018	振込手数料、年会費手数料
一時立替金	0	0	0	役員による活動支援金
次期繰越金	175,907	27,851	△ 148,056	
合 計	1,648,907	1,764,407	115,500	

#### [ 監査報告 ]

在京石鳥谷町人会の令和元年度の諸関係書類を監査した結果、その内容は適正に処理されていることをご報告いたします。

令和2年5月31日 監事 柳原 政義

## 在京石鳥谷町人会 令和元年度事業報告

### 1. ふるさと交流事業

月	日	事業名	開催場所	出席人数
10	8	岩手県人会連合会 ゴルフ大会	紫カントリークラブ	3
	31	近隣ふるさと会役員懇親会・埼玉会	さいたま市千駄屋	1
11	10	岩手県人会連合会・献血奉仕活動	豊島区池袋東口中洲	2
	12	いわて銀河ドリームフェア(9日～14日)応援	大宮駅西口	3
	17	在京花巻人会「第24回歩こう会」	横浜桜木町駅～横浜駅東口	2
	22	在京大迫人会 副会長武井美沙氏の個展	狛江市 泉の森会館	2
令和2年				
2	3	丹内金津流鹿踊り演舞応援	中野サンプラザ広場前	1
	14	花巻市物産展(13～16日開催)	平塚市 市民プラザ	1

### 2. 総会・親睦交流会

令和元年11月4日(祝) 上野精養軒(東京都台東区上野公園) 183名出席

#### (1)総会

- ①平成30年度事業報告、決算報告、監査報告の承認。
- ②会計年度期間の変更(案)承認。
- ③令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認。

3案とも満場一致で承認。

#### (2)親睦交流会

- ①郷土芸能＝春日流八日市鹿踊り。
- ②八日市つるし雛展示
- ③ロス・ボラーチョスの演奏
- ④町人会女子会員によるフラダンス。
- ⑤石鳥谷町協賛企業提供品の抽選会。

### 3. ブロック活動

- ①3月31日(日) 下町散策 日本橋・大横川 桜満喫クルーズ 参加者30名
- ②9月14日～15日 花巻まつりツアー2019(幹事:花巻人会) 参加者8名  
・14日ホテルグランシェールにて歓迎昼食会,お祭り広場にてパレード見学  
・15日花巻まつり特産フェア、第50回大迫ワイン祭り

### 4. 各委員会活動

- ①総務、企画、広報、財務の各委員会は各々担当されている仕事を遂行し、幹事会に報告し承認される。
- ②広報委員会は「在京石鳥谷町人会だより」の発行(2回)、に向け数回の編集会議を重ね幹事会へ報告し承認を受ける。
- ③女子会員によるフラダンスの練習・4月より9月まで毎月2回練習会開催。

## 5. 情報交換

令和元年11月、在京石鳥谷町人会「町人会だより」を発行し総会出席者、その他関係者に送付。発行部数250部。

## 6. 近隣ふるさと会などへの出席状況

月	日	事業名	開催場所	出席人数
10	3	在京花巻ふるさと会役員会	飯田橋ふるさと会事務所	2
	27	第34回在京金ヶ崎人の集い	日暮里ホテルラングウッド	4
	27	平成31年度大迫人のつどい	一の橋日本教育会館	2
11	2	第33回紫波町ふるさと会の集い	錦糸町東武ホテル	3
	10	第41回在京東和町友会の集い	東京ガーデンパレス	8
令和2年				
1	26	関西岩手県人会	梅田スーパードライ	1
2	2	岩手県人連合会春の懇親会	東天紅上野店	4

## 7. 幹事会等の開催

月	日	事業名	開催場所	出席人数
10	8	令和元年度総会、親睦交流会打合せ	東京駅	2
	15	令和元年度総会、親睦交流会 上野精養軒打合	台東区上野精養軒	2
	20	第1回幹事会(会計監査含む)	飯田橋ふるさと会事務所	19
11	3	令和元年度総会、親睦交流会前日準備作業	台東区上野精養軒	14
	4	令和元年度総会、親睦交流会	台東区上野精養軒	25
	5	令和元年度総会、親睦交流会後始末作業	上野精養軒、ふるさと会事務所	3
12	8	第2回幹事会	日暮里ひろば館302号室	19
令和2年				
1	10	第26号町人会だより編集会議	飯田橋ふるさと会事務所	9
	28	第26号町人会だより臨時編集会議	日暮里ニュートーキョー	4
2	4	令和2年度下町散策の下見	新宿区新国立競技場	3
	15	第3回幹事会	日暮里ひろば館203号室	18
3	16	第26号町人会だより編集会議	日暮里ひろば館303号室	12

### 【編集後記】

在京石鳥谷町人会役員もコロナ禍の中で、イベントの中止決定をいつするか？11月の総会、親睦交流会はどうするか？集まって良いのか？岩手に帰って良いのか？などメールや電話で情報交換し緊急事態宣言明けから少人数で対策会議を行いました。石鳥谷町の状況も知りたいと思っていたところ、石鳥谷商工会議所OBの方々と繋がりができ、今回の大きな成果だと思います。

またZOOMを利用したTV会議の試行など、IT活用に挑戦したり、昭和世代もやればできる！と自信持ちました。令和3年 春号は「明るく楽しいテーマ」で発行できる事を願っております。皆様のお便りをお待ちしております。宜しく願い致します。 (編集長 上川 信行)